

2023年度

放送大学徳島学習センター

出張講義のご案内

- ご希望の講座がありましたら、ご連絡ください。
- 実施日、講義内容等につきましては、担当客員教員との相談になりますので、できるだけ早めにお申し込みください。
- 講師謝礼金，交通費等は必要ありません。
- プロジェクター，スクリーン等の用意をお願いする場合があります。

〒770-0855

徳島市新蔵町2丁目24番地

徳島大学日亜会館3階

TEL 088-602-0151

FAX 088-602-0152

(担当:徳島学習センター 宮下・山村)

放送大学徳島学習センター出張講義一覧

2023年度版

1. 工学：題目「IoT社会における安全・安心の確保」

講内 義容	現在、我々は第4次産業革命の真っ只中にいます。その産業革命で生み出される社会はさまざまな「モノ」がインターネットにつながるIoT (Internet of Things) で作られる社会です。IoTで得られた大量のデータを人工知能 (AI) 等を用いてコンピュータで処理することで、我々はより豊かな人生を過ごせるようになることが期待されています。たとえばその社会では自動車の自動運転も実現されるでしょう。この産業革命で生み出される社会ではより一層、安全・安心の確保が重要で、それを実現する方法について本講義では紹介します。
対 象	一般社会人、生徒・保護者・教職員
氏 名	橋爪 正樹 (放送大学徳島学習センター所長・徳島大学名誉教授)
連絡先	放送大学徳島学習センター (TEL088-602-0151)
備 考	必要備品 液晶プロジェクター, スクリーン

2. 工学：題目「エレクトロニクス回路のヘルスマニタリング」

講内 義容	エレクトロニクス回路は身の回りの電子製品だけでなく自動車にも組み込まれており、その回路の高信頼性が求められています。その一方で回路の小型化要求から高機能回路をサイズの小さな部品で作ることが求められ、その結果、高信頼性確保が難しくなっています。さらに製品の使用期間が長くなっていることから、動作中に欠陥が発生し電子製品の稼働停止に至る可能性があり、エレクトロニクス回路の健康状態を監視する必要性がでてきています。本講義ではエレクトロニクス回路におけるそのような現状とその解決策を紹介します。
対 象	一般社会人、生徒・保護者・教職員
氏 名	橋爪 正樹 (放送大学徳島学習センター所長・徳島大学名誉教授)
連絡先	放送大学徳島学習センター (TEL088-602-0151)
備 考	必要備品 液晶プロジェクター, スクリーン

3. 行動統計学：題目「データの理解に役立つ統計手法(1)：記述統計編」

講内 義容	難しいと思われている統計法について、その基本的な考え方を簡潔に紹介します。この講義では、身の回りの事象を理解するために、世の中にあふれているデータを収集、整理、集約し、そのデータの特徴を簡潔にわかりやすく表現するために用いる記述統計法について紹介します。また、統計によるウソに惑わされないように気を付ける必要がある事柄について具体例を参考にしながら、統計との賢い付き合い方を考えます。
対 象	一般社会人、生徒、保護者、教職員
氏 名	川野 卓二 (放送大学徳島学習センター客員教授・徳島大学名誉教授)
連絡先	放送大学徳島学習センター (TEL088-602-0151)
備 考	必要備品 液晶プロジェクター, スクリーン

4. 行動統計学：題目「データの理解に役立つ統計手法（2）：推測統計編」

講義内容	記述統計法によって集められた様々な数値に圧倒されることなく、報告されている統計情報を誤解せずに賢く使うことが大切です。 この講義では、標本データをもとに全体となる母集団に関する関係や差の有様を確率の考え方を利用して推測判断する推測統計法について紹介します。 統計情報として伝えられている数値に惑わされることなく、統計を使って言えることと言えないことを正しく区別できる力について考えます。
対象	一般社会人、生徒、保護者、教職員
氏名	川野 卓二（放送大学徳島学習センター客員教授・徳島大学名誉教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

5. 交通工学：題目「地球温暖化問題と交通」

講義内容	地球温暖化問題に対して、自動車交通からの温室効果ガス排出量の削減も必要となっています。世界では電気自動車（EV）の普及が急速に進められています が、我が国における普及率はまだ高くありません。このため、自動車からの温室効果ガス排出量を抑制するための様々な方策が必要とされています。 本講義では、温室効果ガス排出抑制の考え方を学ぶとともに、その具体的な方策として、都市空間のコンパクト化、公共交通サービスの向上、自転車利用の促進、ロードプライシング、モビリティマネジメント、EVおよび燃料電池車両（FCV）について取り上げます。
対象	一般社会人、生徒・保護者・教職員
氏名	奥嶋 政嗣（放送大学徳島学習センター客員教授・徳島大学大学院教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

6. 土木計画学：題目「四国地方における災害に強いまちづくり計画」

講義内容	東北地方太平洋沖地震は津波により未曾有の大災害となり、多くの教訓が残されました。四国地方では南海トラフ巨大地震による甚大な被害が想定されています。また、急峻な地形もあり、近年にも台風の襲来による多大な被害が発生しており、豪雨等による水害・土砂災害にも備える必要があります。 本講義では、四国地方整備局により策定されている「災害に強いまちづくりガイドライン」を参照しつつ、災害に強いまちづくり計画について学びます。特に「対象地域の現状把握・分析・課題の抽出」および「時間軸での備え検討」を取り上げます。
対象	一般社会人、生徒・保護者・教職員
氏名	奥嶋 政嗣（放送大学徳島学習センター客員教授・徳島大学大学院教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

7. 看護学：題目「被災地における災害看護」

講義内容	近年、国内外において予測困難な災害が頻発しています。被災地ではさまざまな専門職やボランティアが支援活動を行っており、看護職はその一端を担っています。本講義では災害の基礎知識を理解し、災害医療の観点から看護職の役割について知る機会とします。なかでも災害サイクルに応じて生じる人への影響や災害時に特徴的な健康課題、看護の実際について学びます。
対象	一般社会人、生徒、保護者、教職員
氏名	山下留理子(放送大学徳島学習センター客員教授・徳島大学大学院特任教授)
連絡先	放送大学徳島学習センター (TEL088-602-0151)
備考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

8. 英米文学：題目「文学作品の翻訳の問題：スウィフトとキャロルの場合」

講義内容	英米文学などの海外の文学作品を味読する際に、私たちは原書だけでなく日本語の翻訳もよく利用しますが、翻訳者によっては原文の意味を拡大解釈して訳したり、原文にはない言葉を勝手に補ったりしていることをしばしば見かけます。本講義では、作品の原文と翻訳との微妙な差異に着目し、そうした差異がどのように作品の世界を広げたり狭めたりしているかについて考えます。例としてスウィフトの『ガリヴァー旅行記』とキャロルの『不思議の国のアリス』を取り上げます。
対象	一般社会人、生徒・保護者・教職員
氏名	山内 暁彦(放送大学徳島学習センター客員准教授・徳島大学大学院准教授)
連絡先	放送大学徳島学習センター (TEL088-602-0151)
備考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

9. 空間情報科学：題目「現代社会の地理空間情報」

講義内容	「地理空間情報」は、位置や場所の情報を扱う都市計画、防災、ナビゲーションなどの分野において活用され、人間社会をより便利で豊かなものにしていきます。本授業では、様々なデジタル地図を利用したコンテンツやサービスなどの具体的な事例を示しながら、地理空間情報を通して見た現代社会の様々な活動や現象について考えます。
対象	一般社会人、生徒・保護者・教職員
氏名	塚本 章宏(放送大学徳島学習センター客員准教授・徳島大学大学院准教授)
連絡先	放送大学徳島学習センター (TEL088-602-0151)
備考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

10. 空間情報科学：題目「デジタルマップと社会」

講義内容	社会生活における日常の便利なサービスの中に取り込まれた空間情報を無意識のうちに活用しています。近年のインターネットやGPS付きモバイル端末の普及で身近になった、ショップ検索やホテル予約、ゲームアプリなどの利用者の位置情報によるサービスは、ほんの一例でしかありません。本授業では、実際の社会で空間情報が利用されている事例を挙げながら、空間情報の基本的な概念や分析理論を理解することを目的とします。
対象	一般社会人、生徒・保護者・保護者
氏名	塚本 章宏(放送大学徳島学習センター客員准教授・徳島大学大学院准教授)
連絡先	放送大学徳島学習センター (TEL088-602-0151)
備考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

1 1. 心理学：題目「認知症の理解と予防，付き合い方」

講義内容	高齢者の4人に1人の方が認知症とその予備軍とも言われるほど，認知症は一般的なものとなりました。「私も認知症になる？」「うちの親も・・・」そんな不安もよぎりますが，日々の生活習慣の工夫で認知症になる可能性を減らすことができます。しかし，認知症を治す特効薬がない現在，「認知症になってから」のことも考えておくことも必要でしょう。講義では，認知症の予防に加え，認知症の始まりに気づく方法や，認知症になってからの生活についてお話しします。
対象	一般社会人，生徒・保護者・教職員
氏名	川西 智也(放送大学徳島学習センター客員准教授・鳴門教育大学大学院准教授)
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター，スクリーン

1 2. 心理学：題目「認知症の方の介護家族の心理とストレスケア」

講義内容	認知症の方の介護を続けるご家族からは，「どう応じたらいいのか分からない」「どうしてもイライラしてしまう」などの悩みが聞かれます。そこには，認知症という病気に加えて，家族であるがゆえの介護の難しさもあるようです。講義では，認知症の方の介護家族が抱える心理や，介護ストレスを減らすための工夫についてお話しします。
対象	一般社会人，保護者・教職員
氏名	川西 智也(放送大学徳島学習センター客員准教授・鳴門教育大学大学院准教授)
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター，スクリーン